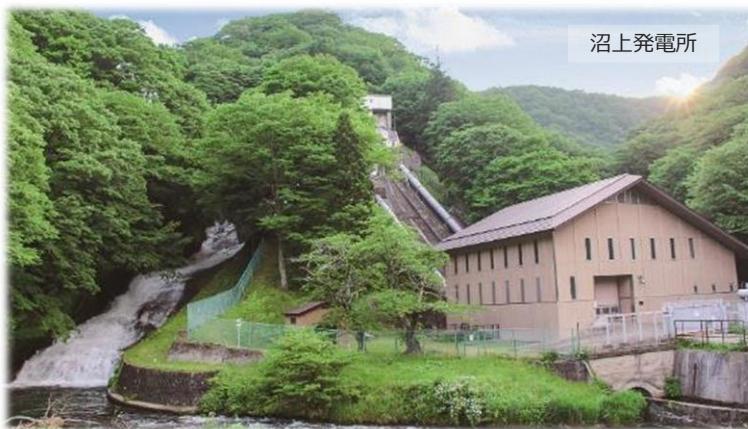


郡山市及びこおりやま広域圏における 気候変動適応に係る取組み



令和2年7月31日
郡山市環境政策課

郡山市の概要①

郡山市の概要

- 市域面積：757.20 km²
- 人口：330,968人（R1.7.1現在）
- 経済県都
 - 農業 米の収穫量（H30）
45,100 t（全国16位、県内1位）
 - 商業 年間商品販売額（H28）
1兆4,030億円（県内1位、東北2位）
 - 工業 製造品出荷額（H29）
7,110億円（県内2位、東北3位）



猪苗代湖

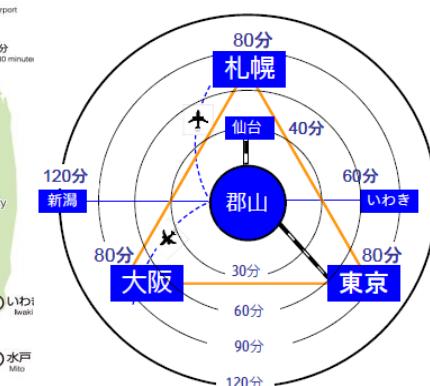


郡山市の地理条件など

- 福島県の中央に位置する
- 高速交通の結節点
- 風況に恵まれた西部地域
- 研究機関が多く存在
- 猪苗代湖水を導く安積疏水※

※ 平成28年度日本遺産認定【郡山市・猪苗代町】
『未来を拓いた「一本の水路」
－大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代－』

時間軸で見る郡山のロケーション



郡山市の概要②

SDGs未来都市（2019年7月選定）

- SDGs未来都市として「**気候変動への対応**」を含め
「持続可能な地域社会の形成」を目指している



2019年7月1日
「SDGs未来都市」選定証授与式

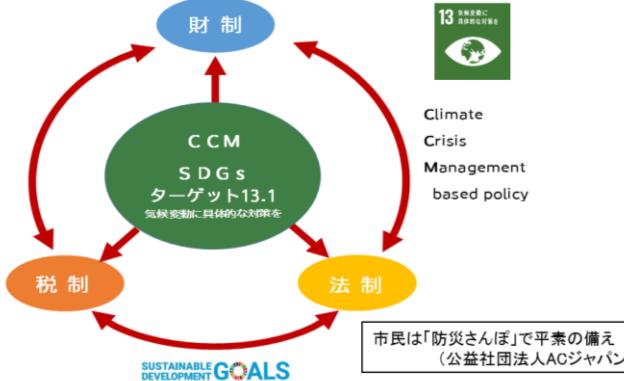


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 気候変動対応型SDGs未来都市の実現に向けて City of Koriyama, Fukushima Prefecture JAPAN

- #### ◆平時からの災害に対する備え(产学研官連携で)

令和元年台風第19号災害を踏まえ、「気候変動」を前提とした社会システムへの変更

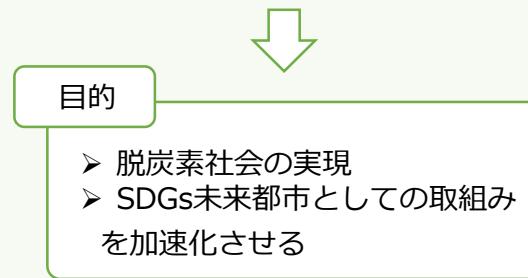
⑤気候変動対応型SDGs未来都市』の実現 ⇒法制・税制・財制、全ての制度設計を 「気候変動対応型」に



出典：地方創生SDGs国際フォーラム2020（2020年1月10日）
「都山市発表資料」より抜粋（パネリストとして品川市長が登壇）

2050年 二酸化炭素排出実質ゼロ表明

- 2019年11月「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」宣言



2019年11月28日 記者会見

2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明 自治体

- 東京都・京都市・横浜市を始めとする101の自治体（18都道府県、48市、1特別区、25町、9村）が「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明。
 - 表明した自治体を合計すると人口は約6,386万人(※)、GDPは約311兆円となり、日本の総人口の過半数を超える勢いとなっています。(2020年6月25日時点)



出典：環境省「地方公共団体における2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明の状況」

現行計画（～2021年3月）

次期計画（2021年4月～）

郡山市地球温暖化対策実行計画「区域施策編」
 (地球温暖化対策推進法・区域施策編)
 【2011年4月策定】

第五次環境にやさしい郡山市率先行動計画
 (地球温暖化対策推進法・事務事業編)
 【2018年3月策定】

郡山市エネルギービジョン
 (郡山市独自のエネルギー計画)
 【2015年3月策定】

地域気候変動適応計画
 (気候変動適応法)
 【未策定】

集約
(改定)

策定

(仮称) 郡山市地球暖化対策総合戦略
将来像・施策体系（案）

郡山市の環境における将来像

**Carbon
Neutral City
Koriyama**
 脱炭素社会の実現と
SDGsの達成

地域経済
の牽引
郡山市そして
こおりやま広域圏の
活性化

ゆるぎない
強靭な都市
災害に強く
安心・安全な都市と
広域圏づくり

イノベーションの牽引と地域経済活性化のまちづくり

スマートなまちづくり
省エネを継続的に推進する

再エネの活用と水素社会の実現に取り組むまちづくり

便利で快適なまちづくり
地域環境の整備・発展による

循環型まちづくり
限られた資源を活用する

安心して暮らせるまちづくり
気候変動影響に適応し

多様な主体の連携による脱炭素社会構築の
気運が高いまちづくり

将来像実現を支える柱
(施策体系)

こおりやま連携中枢都市圏（こおりやま広域圏）の概要

- 構成：16市町村（5市7町4村） ※中枢都市：郡山市
- 人口：約65万人（福島県の約3分の1）
- 面積：約3,313km²（福島県の約4分の1）

連携中枢都市圏の形成

郡山市が
連携中枢都市
宣言
(2018年9月4日)

郡山市と14市町村が
連携協約を締結
(2019年1月23日)

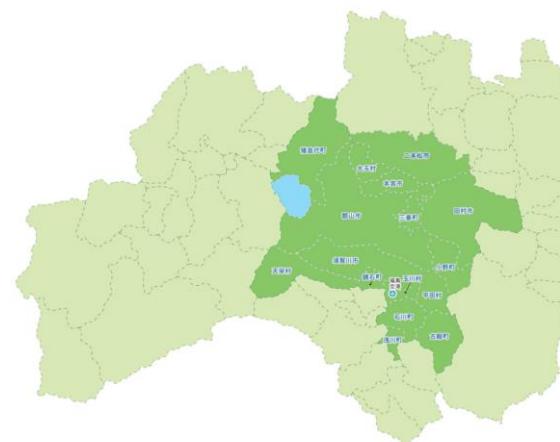
郡山市が
連携中枢都市圏
ビジョンを策定
(2019年3月19日)

郡山市と二本松市が
連携協約を締結
(2019年10月18日)

国（総務省）が設置する「連携中枢都市圏構想推進要綱」に基づき
「こおりやま広域連携中枢都市圏（通称：こおりやま広域圏）」を
形成する16市町村

【構成市町村】

郡山市、須賀川市、二本松市、
田村市、本宮市、大玉村、
鏡石町、天栄村、猪苗代町、
石川町、玉川村、平田村、
浅川町、古殿町、三春町、
小野町



こおりやま広域圏内の主な研究機関・再エネ発電施設

産総研 福島再生可能エネルギー研究所

産業技術総合研究所における再エネに特化した研究所（平成26年4月開所）

再エネに関する新技術を
生み出し発信する拠点を
目指し、各種研究を実施

国立環境研究所福島支部
(福島県環境創造センター内)

国立環境研究所の初めての地方組織として
開設（平成28年4月開所）

大規模災害の教訓を
踏まえた環境面での
強靭化に資するよう、
災害と環境に関する
研究を進めている

郡山市・日本大学工学部
再生可能エネルギー共同研究施設

郡山市の廃校を利用した共同研究施
(平成27年9月開所)

主に「浅部地中熱」
の利用技術の実用化に
についての研究を実施



郡山布引高原風力発電所
(65,980 kW)

日本大学工学部

人と地球にやさしい
「ロハスの工学」を
テーマにした教育・研究・開発活動を推進し
ている



ふくしま空港メガソーラー
(1,194 kW)

- 2018年度：取組みに向けた準備
- 2019年度：気候変動適応に関するノウハウの蓄積
 - 郡山市 … 「地域気候変動適応計画」素案（イメージ）の検討
 - 広域圏 … 「こおりやま広域圏気候変動適応等推進研究会」の開催
- 2020年度：計画・指針の策定
 - 郡山市 … 「気候変動適応ワーキンググループ（庁内組織）」による「地域気候変動適応計画」策定に向けた検討
 - 広域圏 … 「こおりやま広域圏気候変動適応等推進研究会」による「広域圏における指針（仮）」策定に向けた検討

- 2018年度：取組みに向けた準備
- 2019年度：気候変動適応に関するノウハウの蓄積
 - 郡山市 … 「地域気候変動適応計画」素案（イメージ）の検討
 - 広域圏 … 「こおりやま広域圏気候変動適応等推進研究会」の開催
- 2020年度：計画・指針の策定
 - 郡山市 … 「気候変動適応ワーキンググループ（府内組織）」による「地域気候変動適応計画」策定に向けた検討
 - 広域圏 … 「こおりやま広域圏気候変動適応等推進研究会」による「広域圏における指針（仮）」策定に向けた検討

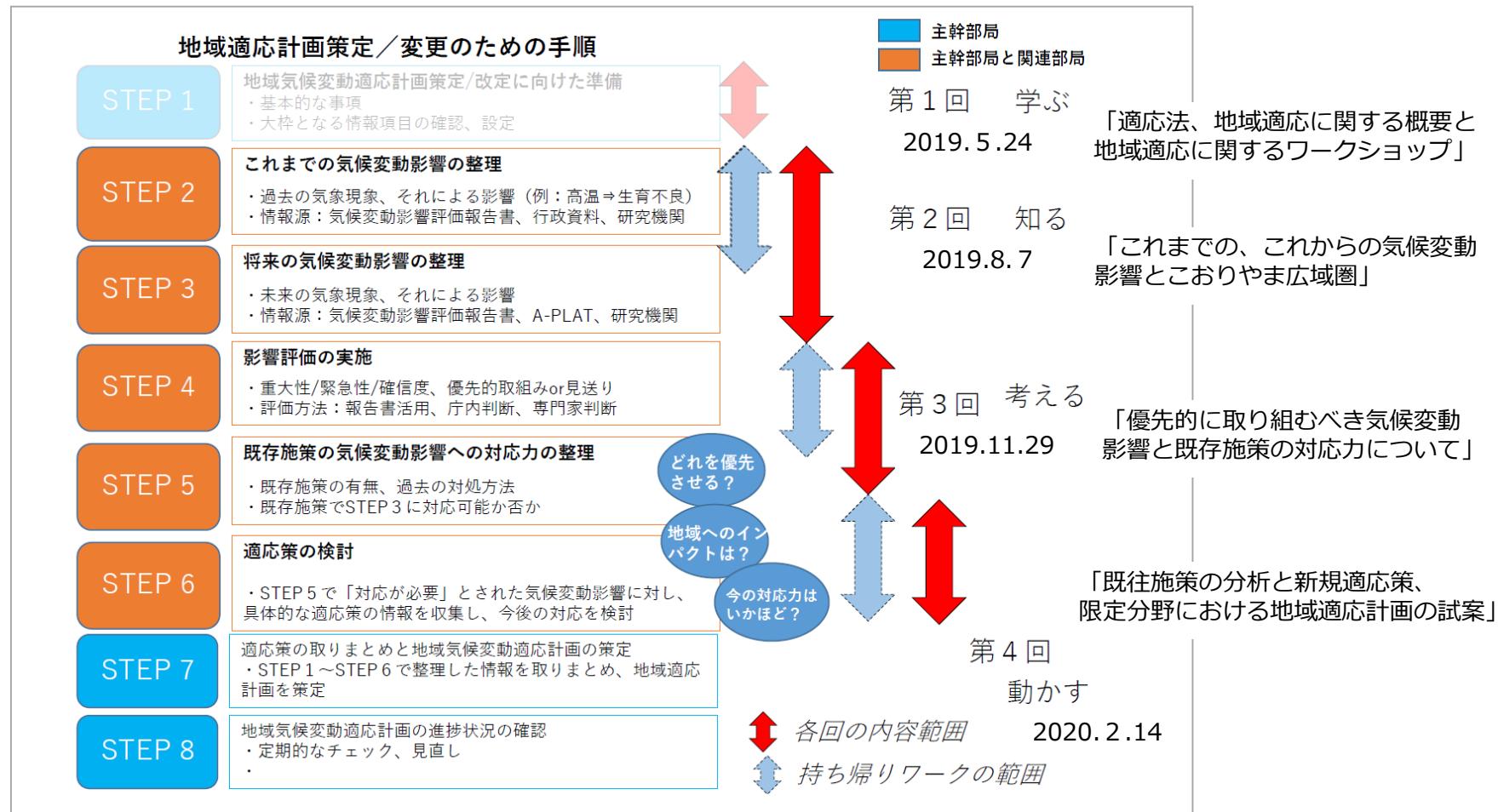
年月	内容（背景・経緯）
2018年 6月	「気候変動適応法」公布
8月	国立環境研究所（福島支部）に、気候変動適応に係る取組みの支援を依頼 ⇒ 「郡山市」及び「こおりやま広域圏」を対象に支援していただけけること
11月	「第1回 気候変動適応に関するセミナー」開催 ○ 講 師：行木 美弥 氏（国立環境研究所） 渡邊 明 氏（福島大学） ○ 参加者：96名（郡山市及び広域圏自治体職員 等） 
12月	「気候変動適応法」施行
2019年 2月	郡山市と国立環境研究所との連携協定の締結 ⇒ 持続可能な地域づくりの推進に関する調査・研究や 気候変動に適応した都市・広域圏の調査・研究等を推進 
同月	「第2回 気候変動適応に関するセミナー（農業編）」開催 ○ 講 師：豊村 紳一郎 氏／岡田 将誌 氏（国立環境研究所） ○ 参加者：86名（郡山市農業委員、郡山市及び広域圏自治体職員 等）

- 2018年度：取組みに向けた準備
- 2019年度：気候変動適応に関するノウハウの蓄積
 - 郡山市 … 「地域気候変動適応計画」素案（イメージ）の検討
 - 広域圏 … 「こおりやま広域圏気候変動適応等推進研究会」の開催
- 2020年度：計画・指針の策定
 - 郡山市 … 「気候変動適応ワーキンググループ（府内組織）」による「地域気候変動適応計画」策定に向けた検討
 - 広域圏 … 「こおりやま広域圏気候変動適応等推進研究会」による「広域圏における指針（仮）」策定に向けた検討

2019年度：気候変動適応に関するノウハウの蓄積

○ 広域圏 … 「こおりやま広域圏気候変動適応等推進研究会」の開催

→ 環境省『地域気候変動適応計画策定マニュアル』の手順に沿って、ワークショップ等を実施



出典：国立環境研究所 福島支部 地域環境創生研究室
 「こおりやま広域圏気候変動等推進研究会 セミナー・ワークショップ説明資料」

2019年度：気候変動適応に関するノウハウの蓄積

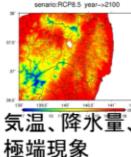
◆ 実施内容の紹介：第3～4回「こおりやま広域圏気候変動適応等推進研究会」

→ 限定分野（「健康」等）における「インパクトチェーンの確認」と「地域適応計画の試案」

気候変動の影響とリスクについて図示：インパクトチェーン

気候変動による様々なリスク（気候リスク）

気候変動（外力）（現在、2030年、2050年）



外力

暴露

対策可能

脆弱性

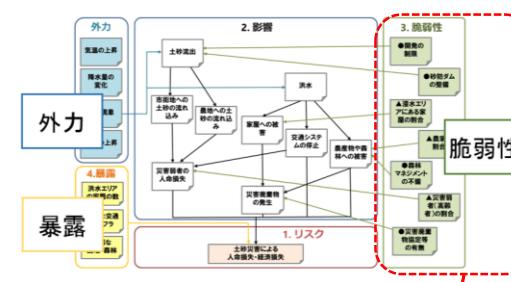
気候変動に晒される対象（暴露）
気候変動に敏感・適応に欠く（脆弱性）

気候変動に敏感・適応に欠く（脆弱性）

リスク

「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第5次評価報告書（AR5）」による定義

分野ごとに気候リスク要素を図的に分析



出典：国立環境研究所 福島支部 地域環境創生研究室「研究会 説明資料」

適応策（=脆弱性への対策）

「既存の施策で十分対応可能」

※ 既存施策（適応策）の整理

既存施策の有無

あり

「新規または追加的な施策が必要」

※ 新規施策（適応策）の検討

なし

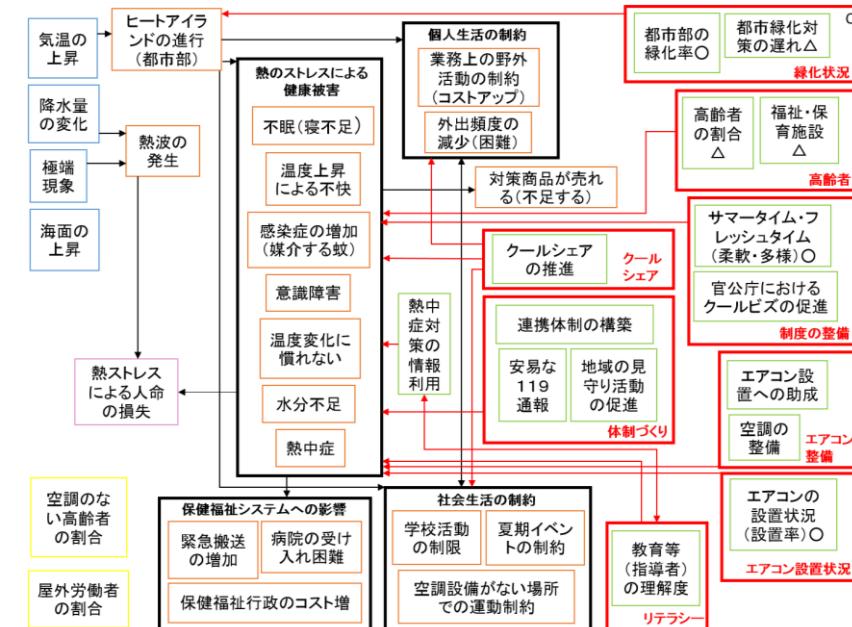
「新規または追加的な施策を今後検討」

出典：環境省「地域気候変動適応計画策定マニュアル -手順編-」



環境分野の職員等を対象としたワークショップの実施

「健康分野」におけるインパクトチェーン（「研究会」成果物）



限定分野（水環境・自然生態系・健康）について、
こおりやま広域圏における「適応策」を整理

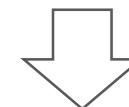
2019年度「こおりやま広域圏気候変動適応等推進研究会」を通じて…

➤ 成果

- 「ワークショップ」の実施により、「適応」に関する理解が深まった。
(※ 「座学」だけの研修等では足りない部分もある)

➤ 課題

- 環境分野の職員だけでは、各分野における施策の実態を把握することが難しい
- こおりやま広域圏の各市町村の実情・要望に沿った内容にできたか？



2020年度、郡山市（府内）の関連部署を巻き込み、計画策定に向けた検討を行う。

また、郡山市（府内）での取組内容と成果については、広域圏（研究会）で共有し、「広域圏における指針（仮）」を策定（検討）することとした。

- 2018年度：取組みに向けた準備
- 2019年度：気候変動適応に関するノウハウの蓄積
 - 郡山市 … 「地域気候変動適応計画」素案（イメージ）の検討
 - 広域圏 … 「こおりやま広域圏気候変動適応等推進研究会」の開催
- 2020年度：計画・指針の策定
 - 郡山市 … 「気候変動適応ワーキンググループ（庁内組織）」による「地域気候変動適応計画」策定に向けた検討
 - 広域圏 … 「こおりやま広域圏気候変動適応等推進研究会」による「広域圏における指針（仮）」策定に向けた検討

2020年度：計画・指針の策定

- 郡山市 … 「気候変動適応ワーキンググループ」による計画策定に向けた検討
⇒ 2019年度に実施した広域圏「研究会」の成果等を活用し、ワークショップ等を実施
 - ◆ 気候変動適応ワーキンググループ（目的／構成員）

【目的】

地域気候変動適応計画の策定に向け、適応策についての調査及び検討を行う

※ 「郡山市地球温暖化対策推進本部」における幹事会（課長級）の下部組織として設置

【構成員】

・ A班（分野：水環境・水資源／自然生態系・自然災害を担当）

環境政策課、環境保全センター、防災危機管理課、政策開発課、
河川課、都市政策課、上下水道局経営管理課

・ B班（分野：農林・水産業／産業・経済活動を担当）

農業政策課、園芸畜産振興課、林業振興課、農業委員会事務局、
産業政策課、観光課、産業創出課

・ C班（分野：健康／国民生活を担当）

セーフコミュニティ課、健康福祉総務課、健康長寿課、保健所地域保健課、
こども未来課、総合交通政策課、学校管理課

※ 各課の課長補佐～係長級以下の職員で構成

2020年度：計画・指針の策定

- 郡山市 … 「気候変動適応ワーキンググループ」による計画策定に向けた検討
⇒ 2019年度に実施した広域圏「研究会」の成果等を活用し、ワークショップ等を実施

◆ 気候変動適応ワーキンググループ（スケジュール・内容）

【スケジュール・内容】 ※ 講師・ファシリテーター：国立環境研究所 福島支部 地域環境創生研究室

	日時	内容
第1回	7月3日	<講義> ・気候変動に関する背景、福島県内での気候変動 ・地域気候変動適応策の必要性について 等
第2回	7月16日	<ワークショップ> ・適応策の検討に向けた情報整理シートの確認 ・分野1におけるインパクトチェーンの確認
第3回	8月5日 (予定)	<ワークショップ> ・分野1における適応策の整理・検討 ・分野2におけるインパクトチェーンの確認
第4回	8月28日 (予定)	<ワークショップ> ・分野2における適応策の整理・検討 ・全庁的な取組みの可能性の検討及びまとめ



適応策の整理・検討結果を取りまとめ、「地域気候変動適応計画」の策定につなげる

2020年度：計画・指針の策定

- 広域圏 … 「研究会」による「広域圏における指針（仮）」策定に向けた検討
⇒ 年度内に4回程度「研究会」を開催し、広域圏としての「指針」等をまとめる

【「広域圏における指針（仮）」のイメージ】

郡山市（気候変動適応ワーキンググループ）での取組内容と成果を活用・共有しつつ、
広域圏の特性を踏まえ、特に影響が大きいと考えられる分野・項目について、取組みの方向性を示す

<参考>

第5章 気候変動の影響に対する適応策

- 2015年度実施の「福島県の気候変動と影響の予測」の結果、気候変動は不可避 → 「適応」の対応が不可欠
- 本県の特性を踏まえ、特に影響の大きい、
「水災害・水資源」「農林水産業」「生態系」「健康」の4つの分野について取組の方向性とその適応策を整理

水災害・水資源分野	大雨発生数増加による災害リスク増大・・・・河川整備や減災体制の構築など、ハード・ソフト一体となった取組推進 県危機管理センターを中心とした総合的な災害対応 年間の無降水日の増加・・・・ダム等が安定的に供給できる水資源量の把握 渇水時には関係者による迅速な情報共有
農林水産業分野	気温上昇等による農作物等への影響・・・・高温耐性品種の開発や生産技術活用等推進
生態系分野	気候変動による動植物種変化・・・・情報収集による実態の把握。
健康分野	気温上昇による熱中症リスク増大・・・・クールシェア（※4）や予防策周知の取組推進

↳ 最新の知見を踏まえた継続的な見直しにより気候変動の影響に対応

※4 施設等に集まり、冷房を共有すること

出典：福島県地球温暖化対策推進計画概要（抜粋）「第5章 気候変動の影響に対する適応策」

国立環境研究所（福島支部）のご支援により、現在、計画・指針を策定中

➤ 郡山市

- 「郡山市地球温暖化対策推進本部」における幹事会（課長級）の下部組織として、「気候変動適応ワーキンググループ」を設置（2020年7月～）
⇒ 適応策についての調査・検討を実施し、2021年4月に「地域気候変動適応計画」を含む「（仮称）郡山市地球暖化対策総合戦略」を策定予定

➤ こおりやま広域圏

- 「こおりやま広域圏気候変動適応等推進研究会」を設置（2019年5月～）
⇒ 上記、郡山市での取組内容と成果を活用・共有しつつ、2021年3月頃までに「広域圏における指針（仮）」策定予定

ご清聴ありがとうございました。



郡山市イメージキャラクター
がくとくん がくとくんの妹
おんぷちゃん

郡山市環境政策課
TEL 024-924-2731
FAX 024-935-6790

E-mail kankyouseisaku@city.Koriyama.lg.jp